

成人向
Adult Only

オシロイ

援交



日本のとある場所、N市では最近、奇妙な噂が広まっていた。曰く、魔法少女と名乗る者達が競うように人助けをしているというものである。

ある者は火の手の上がる火災現場から命を救われ

またある者は夢の中で怖い怪獣を倒して悪夢を防いでくれたりとその内容も規模も千差万別

しかしそんな無数の魔法少女の中、一人だけ際立って話題にあがる者がいた

その少女は夜な夜なキャンディを求めて報われない童貞達を解放して回っていると

人助けの回数がずば抜けていたというのも理由の一つではあるが最初に噂されてから暫く経った頃耳を疑うような話が囁かれ始める

しかし、彼女が何故そんな事をしているのかは誰も理由を知らない――





—はあ…



42歳にもなるのに
未だに万年平社員

数年前に入社した新人は
すでに私を超え、上司になり
毎日年下に頭を下げる日々

いつの間にか私の席は
窓際に移動させられ
リストラ最有力候補

私の悪口を
これ見よがしに話す
周りの声に耐えながら
必死に会社にしがみ
付いている



私の人生…どうして
こう上手くいかない
んでしょうね…

妻や子供でもいれば
気も紛れたかもしれないが
残念ながら縁に恵まれる
事はなかった

…ただいま

カキ

だというのに家があれは
結婚出来るのではないかと
ローンで一軒家を購入して
しまうのだから
もう救いようがない

誰もいない真つ暗な
廊下に向かつて
返るはずのない
帰宅の言葉を繰り返す

これはは
おじさま ♡

いつその事、死んでしまえば
楽になれるだろうか？
そんな事を日々頭に浮かべ
疲れ果てていた、ある日の夜

私は彼女たちに
出会ったのだった

突然、おみません
少しだけ…わたし達の話を
聞いてくれませんか？

きっと死ぬまでこうなのだろう
家族どころか女性と関わる事もなく
一人寂しく死ぬ—それが自分の未来

スノーホワイト…っ
やっぱりこんな事して
まで……きつと何か
他に方法が—

無理だよ、ラ・ピュセル！
この辺りのキャンディは
皆、他の……だから
もうこの方法でしか
大量に—

こゆ…っ
入れ過ぎ！
入れ……あひい！

何なのだろうか
この状況は…？

だからって…っ
ひやわあう！？

ラ・ピュセル
初めてなんだから
しつかり濡らさないと
…わたしに任せて、ね？

うう…
でも…うわっ！
な、なかにっ！
ゆ、指が…
あうううんっ！

さつきは白い子の妙に
必死な様子に、つい訳も
分からないまま
頷いてしまったが…

おじさまって…
女性経験あり
ませんよね！

は！？

お願いします！
わたし達を助けると思って
おじさまの大事な童貞…
わたし達に下さい！！

これは：よく考えなくとも
援助交際：ですよね
バレたら会社をクビ：
社会からも後ろ指を
指されてブタ箱行き：

ズン

…じ…まっ
おじさま！

そもそもこんな加齢臭の
する中年男の所に
こんな可愛い娘達が
声を掛けてくれる事が
おかしい…きつと近くに
怖い人達が…

準備出来ました
先にラ・ピュセルから
お願いします♡

…あれ？

もちろん、その後は
わたしも…♡

あ…わたし達じゃ
おじさまの相手に
不足だったでしょう
か？

い…いや！いやいやっ
そうじゃないんだ！

フム
フム

いっ

あは

びん

あは

ただ…ねえ？

私のような冴えない中年に
どうして君達みたいな娘が
こんな事をしてくれるのか
分からないんだ…

ホリ
ホリ
ホリ

スノーホワイト…
おじさんもこう
言ってるし
今回は帰ろう？

だけどこれでいいんだ…
この年になっても子供も
いない。それどころか
女性経験すらない中年男…

だからここまでして
もらって悪いけど…
帰ってもらえるかな？

たとえ嘘や冗談でも
こんな冴えない男に
声を掛けてくれて
ありがたう…

そんなダメ男と過ちなんか
犯すべきじゃないんだ…
…こんな事だから未だに
童貞なんだろうな…
意地がないというか
なんと…はあ

おじさまの優しい
けれど救いを求める
心の声—

聞こころ…

さあ、もう夜も遅い
タクシー代なら
出してあげる
から――



き君...
びりびり...

ん
ん

はー

ありがとうございます
おじさま…

わたし達の事を
本気で心配してくれて…
凄く嬉しかったです♥

ドキ
ドキ

スノー…
ホワイトちゃん？

詳しい事情は
話せないですけど…
これは自分で決めた事
なんです。だから…

んう……っ!?!
し、しかし君達は
まだ未成年だろう！

未来ある若者の
未来を私みたい
な……んんっ!?!

その未来の為に
必要な事なんです

お願いします
おじさま…

言っている内容は
要領を得なかったが
話している彼女の顔は
とても真剣で…
とても辛そうに見えた

だから私は…
彼女達の頼みを
断る事が出来な
かった

…分かった
本当に私なんかで
いいのなら…

それで…
悪いんだけど
愚息を元気にして
貰えるかな？

勃たないように
頑張っていたら
本当に勃たなく
なってしまうってね…

そう？
ならお願い
あるね♥

はいっ
任せ下さい♥

それは…僕が
僕がやるから！

ま、待って！

スノーホワイトに
ばかり嫌な事を
押し付ける訳には
いかない…ッ

スノーホワイト：
小雪は僕が気付いた時には
キャンディを集めるために
自分の身体を使うように
なっていた…

確かにそうでもしないと
キャンディの数を揃えるのが
難しくなってきた
他の魔法少女も生き残るのに
必死だからだろう…

でも…俺がもっと彼女に
気を配っていたら…
こんな事をさせずに
済んでいたかもしれない

そう思ったら口が
勝手に僕もやると
言ってしまった

とりあえず自分で
やるみたいにか
すればいいか…

ふにゃん

う…自分の
見慣れてるから
大丈夫かと思っ
けど…

他人のだと
想像以上に
気持ち悪いな

せめて彼女の負担を
少しでも減らす…
それが今の僕に出来る
唯一の贖罪だ

さっさと出させて
終わらせよう…

ほら、おっさん！
とっととイっちゃえっ

くっ
くっ
くっ

痛っ!?

ラ・ピュセルちゃん：
すまないが、もう少し
優しくして貰えると
嬉しいのだが…

す、すみませんっ
気を付けます！

ラ・ピュセル、大丈夫？
やっぱり、わたしが
しようか？

い、いや！
大丈夫だから！

痛くならない…
もっと優しく…柔ら
かく…

—とは言ったものの…
よく考えたら他人の
ちんこを擦る力加減なんか
分かるわけないよな…

かといって、このままだと
小雪がまた…いや！それは
駄目だ！僕が頑張らないとっ

あ！！

ちゅっ♡

子供の頃から
憧れていた
魔法少女！

初めてラ・ビュセルの姿に
なった時、戸惑いよりも
魔法少女になれた嬉しさの
方が大きかった

そんな魔法少女…
女の子の証のような
この胸をおっさんの
ちんこなんか
使いたくないけど…

頑張らなきゃ
正義の味方じゃない！

スノーホワイトも
頑張ってるんだっ
だったら僕も—

うわ…っ
ツバ垂らしたら
大きくなったら!?

おお

むせむせ

た

おお
ふん

ふん

思ったより
滑りが悪いな
汚いけどツバで
滑らせよう

おお

ツバで興奮する
なんて変態かよ…

—って
変な声出すなよ
気持ち悪い!

というかコレ…
どんどん熱く
なってきたる…
それに匂いも濃く…

ふん

ふん

ふん

ふん

ふん

ふん

なんだよあの顔…
僕のおっぱいなんかで
あんな気持ちよさそうに
しちゃってさ…

いっしょ

そんな…そんな顔
されたら…
もつとしてあげたく
なる—

いや、違う！
これは…そうっ
人助けなんだよ！

はあ

はあ

だから…コレを
舐める事ぐらい…

魔法少女が人助けを
するのは当たり前前
だから…

ふふほー
ほふあいほ…？

はい
そこまで♥

それ以上は
少し待ってね♥

おじさまの年代だと
何回も出来ないの
だから射精して貰う
なら…こっちでね♥

射精寸前のビキビキで
ガチガチなおちんぼを

ラビユセルの
とろとろ処女
おまんこに…♥

あ

あ

あ

あーあ
分かった

じゃあ
入れる…よっ

はい♥
でもラピユセルは
初めてなので優しく
してあげてください♥

あ、あの…「」まで
して貰っておいで
何だけど、本当に
挿入れて良いのかい？





クラスのお奴とかスノーホワイトから初めては痛いんだって聞いていたのに

柔らかいのにしつかりとした弾力があって、何より溶けそうなくらいに熱い膣内が...

あ、ああ！
任せてくれっ



なんで僕は：
気持ちよく
なってるんだ？

他人のちんこなんか
気持ち悪いだけなのに

なのに突かれる度に
離れたくないもつと
して欲しいって勝手に
股の奥が反応するみたい……

気持ち良すぎて
ずっとこうして
いたいよ！

凄いー凄いよ
ラピユセルちゃん！

おちん

おちん

おちん

おちん

あ

カク

あ

カク

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ



ありがとう
ラ・ピュセルちゃんっ
君みたいな可愛い子で
童貞を捨てられた！

ただそれだけで
灰色だった私の人生が
報われた気分だよ！！



そんな声聞かされたら
わたしもして貰いたく
なっちゃうよお♡

あの…おじさま
わたしもー



ラ・ピュセル
凄いなあ…



初めてなのに
あんなに気持ち良さ
そうな声だして…

スノーホワイト
ちゃんっ、おじさんの
具合はどうかなっ
気持ちよく出来て
るか…い！

なら良かった…よ！
ラピュセルちゃんも
すぐに入れ直して
あげるからね！

は、はいっ♡
おじさまのちんぽ
硬くて熱くて…

とっっても…あんな
気持ち良いです♡

ラピュセル
ごめね…んっ
おじさまのちんぽ
借りちゃって…あん

べ、別に
そんなの欲しく
な…んんっ

でも、おじさまの
初出しザーメンは
ラピュセルにあげる
から安心してね♡

お腹の奥が
フワクってして
幸せな気分にな
るの♡

え…
いや…

んっ…臆出して
すっごく気持ち
良いんだよ♡

へ、へ…
そ、そう
なんだ…あっ♡

こ、今度は
ラ・ピュセル
ちゃんにつ

こうして二人交互に
試みて初めて
女性器に違いが
あるのが分かるよっ

ラ・ピュセルちゃんは
入口から奥までギツギツで
チンコが干切れそうな
ぐらい締め上げてくる！

スノーホワイトちゃんは
入口が小さくてキツいけど
膣内はふわとろで腰が
砕けそうになるぐらい
気持ち良いよ！



最高だっ
最高だよ!!

今日までの不遇な
人生が全部帳消しに
なるぐらい最高だよっ

あわっ
み、みろこたで
誰とて嬉しい
です♡

射撃したくなっただろ
とこども好きなの
出さこいじこすからあっ♡





くっ…そろそろ
限界だっ



スノーホワイトちゃんっ
君は…君たちは天使だ！



お言葉に甘えて
射精させて貰うよっ



はは
ははっ♡

おじさまの重白精液
わたし達の射精して
くださいっ♡



スノーホワイト
怖い…怖いよ…ッ

お腹の奥が自分の
物じゃないみたい
に熱くて変な気持ち
がこみ上がってきて…ッ

大丈夫だよ♡
ソレに逆らわないで
一緒に気持ちいい
なろうっ

あはあ

おじいちゃん
胸をガンガン
ノックしてんねー

うううううううううう
うううううううううう
うううううううううう
うううううううううう

射精すぞお!!

アホアホアホ

アホアホアホ

42歳熟成ザーメン
本当に射精す
からなっ!!

びびる

びびる

びびる
びびる

アホアホアホ

やだッ
やだあああッ

頭バカになるうう
うううううう

あはあ
あはあ
あはあ



あはは

あははは

あはは

射精後、童貞卒業と
人生初の膣出しに
興奮しすぎたのか
疲れて気を失うように
眠ってしまったのだった…



人生最良の日の翌朝



彼女達の痕跡がどこかに残されて探さないかと周囲を

すると居間のテーブルの上でラップに包まれた朝食と共に一枚のメモが置いてあるのを発見した



メモには私への励ましの言葉と何故か昨夜の礼が書かれていた

一瞬、昨日の出来事は私の夢か妄想だったのではないかと疑ってしまった

ベッドから目覚めると彼女達の姿は影も形もなかった



そこには短いけれど彼女達の優しさの溢れた言葉が書かれていた

その言葉を読み終わると久しく流す事のなかった涙が溢れて止まらなかった

結局その日以来、彼女達と再び出会う事はなかったがあの夢のような夜と少し焦げた目玉焼きの味の記憶のお陰で灰色だった私の日常が少しだけ色付いて見えるようになった

だからもし、もう一度出会う事が出来たら…感謝の言葉を伝えたい

こんな私を受け入れてくれてありがとう、と――

~FIN~

発行日 2016年 12月31日
発行者 かめぼてる
作画 戌月ジロウ
連絡先 kamepotel@gmail.com
ホームページ <http://kamepotel.blog113.fc2.com/>
印刷所 (有)ねこのしっぽ

- ※ 本誌は十八歳未満の方への販売・閲覧をご遠慮させて頂いています。
- ※ 本誌掲載の記事、図版・図柄等の無断転載、複写等の行為は禁止しています。又、本誌のインターネット上へのアップロードも禁止させて頂いています。
- ※ 無断でネットにUPするのは窃盗と同じです。軽い気持ちでする、その行為は作者に多大な迷惑が掛かります。もし発見した場合、適切な対処を取らせて貰う事があります。御注意ください。